

第 4 7 回

松阪市美術展覧会

第 1 部 (日本画 ・ 洋画 ・ 彫塑)

入賞・入選作品および招待・審査委員作品一覧

会 期 平成18年9月24日(日)～10月1日(日)

会 場 松阪市文化財センター

主 催 松阪市・松阪市教育委員会

後 援 (財) 岡田文化財団

第 1 部 門 【 日 本 画 】

[賞]	[題 名]	[名 前]
一 席	煌めき	中 村 洋
二 席	ナイト・シネマ	秩 父 さ ち 子
三 席	悠游	角 谷 征 伯
岡田文化財団賞	寛ぎ	山 本 昭 代
奨励賞	玉 葱	市 野 温 子
奨励賞	初夏の公園	岩 崎 米 彦
奨励賞	人間第一香	浅 井 美 代 子
入 選	お寺の潜り門	池 口 君 一 美
入 選	影	戸 前 津 矢 子
入 選	畦道	拔 田 宮 貞 美
入 選	磨崖仏	間 久 保 和 子
入 選	秋趣	大 谷 口 大 和
入 選	酔夢	中 呂 正 操
入 選	菜根香	野 田 晃 廣 夫
入 選	彼岸のおとずれ	安 中 村 み や 子
入 選	海辺にて	鈴 木 浩 子
入 選	白い花	田 中 口 恵 子
入 選	五月	川 口 口 忠 夫
入 選	秋実	山 西 さ っ 子
入 選	カサブランカ	中 村 タ キ 子
入 選	孫七五三の着つけ	小 林 千 代 子
入 選	郡泳	高 橋 安 子
入 選	イスラムの絨毯	森 田 雅 美
入 選	ブックスター(子育て広場)	奥 田 和 文
入 選	春うらら	中 川 さ ち 子
入 選	美女平にて	前 田 依 子
入 選	涼 風	牧 戸 篤 子
入 選	華映	平 井 敏 子
入 選	里山の春	野 口 巳 織 子
入 選	綉雨	津 田 本 親 重
入 選	蓮	山 安 保 隆
招 待	牡丹	
審査委員	音	
審査委員	丘の秋	
審査委員	ひまわり	

● 審 査 評

昨年より出品数が増加し、新しい感覚の作品が増えたようでよろこばしく思います。

他市からの審査員も「レベルが高い」と評価していますので、この傾向が今後とも続いていく様に希望します。

作品の審査は非常に困難を極めましたが、最終的には技術よりも心に訴える内容の作品を選ぶことが出来たと考えています。

第 2 部 門 【 洋 画 】

賞	題 名	前 名
一 席	彼方に	井 上 明 子
二 席	○×無	中 村 春 男
三 席	影慕情	坂 口 八 重 子
岡田文化財団賞	春に遊ぶ	畑 す づ 子
奨励賞	古船と残照	小 谷 一 三 子
奨励賞	火の舞	田 川 き よ 三 子
奨励賞	FamilyMuseum	早 川 拓 馬 夫
奨励賞	cosmos	村 田 忠 夫
奨励賞	追想	橋 爪 幸 雄
奨励賞	赤い携帯	中 津 守
奨励賞	想い	石 川 ま ゆ み
奨励賞	彩 (いろどり)	若 林 吟 子
奨励賞	雨上がり	吉 田 礼 二 子
奨励賞	戌年に逝った犬	近 藤 マ サ 郎
奨励賞	光芒の彼方え	森 一 美 子
入 選	山里	大 西 初 葉 子
入 選	宵闇に咲く花	山 路 倉 智 夫
入 選	溪谷	朝 北 定 樹 子
入 選	露	藪 野 雅 信 子
入 選	WARK-0843	岸 北 木 和 博 子
入 選	飛躍	藪 北 所 正 知 子
入 選	こころ	青 木 美 幸 子
入 選	クリーク	別 村 川 瑠 璃
入 選	おもいで	三 石 朝 下 貴 夫
入 選	少女像	山 美 濃 部 恵 子
入 選	神戸・南京町	青 木 島 憲 和 子
入 選	漁から帰る	大 岡 博 か 子
入 選	家	美 濃 部 恵 子
入 選	祭文踊り	青 木 島 博 か 子
入 選	季節はずれのあじさい	大 岡 博 か 子
入 選	山の精	岡 北 林 中 修 子
入 選	Alley, catの視線	北 田 西 小 美
入 選	人と間	
入 選	舞	
入 選	娘	

[賞]	[題 名]	[名 前]
入 選	訪問者	丸 橋 則 夫
入 選	閑静	中 村 公 生
入 選	鈴の森公園にて	鈴 木 善 一
入 選	ママ みて!	森 田 千 悦
入 選	シャボン玉とんだ	谷 口 悦 子
入 選	実り	河 原 み ど り
入 選	飯高千秋峰	春 木 矯 良
入 選	意志	山 本 小 夜 子
入 選	想い	高 倉 京 子
入 選	行秋(志賀高原)	西 村 慶 乃 助
入 選	室内	田 中 由 美 子
入 選	入学式は雨、4月7日。	前 川 泰 二
入 選	トリたのし	野 呂 昇 郎
入 選	春待つ棚田	佐 波 巳 三 郎
入 選	明日へ	林 武 久 子
入 選	初夏の山里	浜 田 良 憲 郎
入 選	サイタサイタサクラガサイタ	積 木 山 武
入 選	夏の終りに,06	初 瀬 早 苗
入 選	愛	廣 崎 躬 征
入 選	日川の棚田	南 西 清 文
入 選	つるし玉葱	中 林 幸 子
入 選	さつきの花が咲く頃	小 齋 藤 幸 子
入 選	マッチャン	木 田 幸 子
入 選	菩薩	樋 口 き よ み
入 選	ふるさと	田 中 由 実 子
入 選	愛	川 口 み ど り
入 選	草むら	鈴 木 美 里
入 選	ある夜の出来事	磯 田 順 子
入 選	恵みかたち	吉 川 久 美 子
入 選	憂いと希望	世 古 信 行
入 選	志摩の岩風景	富 田 呂 泉
入 選	中部台公園にて	田 川 比 子
入 選	静寂	松 本 郁 代
入 選	金木犀	落 合 秀 男
入 選	閑宿	波 多 信 子
入 選	遺跡・ロマン	湯 浅 光 子
入 選	月夜のセレナーデ	

[賞]	[題 名]	[前 俊 子]
入 選	春のきざし	日 高 水 久 美 子
入 選	ひらく	清 山 辻 小 川 本 八 島 浦 川 西 足 本 佐 茂 本 加 大 出 中 坂 多 柳 新 北 岸 西 下 西 中 河 的 岡 中 土 北
入 選	訪づれ	田 野 上 間 田 村 田 口 川 立 山 藤 手 田 藤 島 口 西 元 賀 田 羅 村 代 悦 岡 晃 谷 合 場 田 西 嶋 井
入 選	水差しのある静物	悦 新 建 重 朝 理 誠 美 千 勝 代 量 重 恵 訓 隆 律 悦 義 晃 美 幹 久 敏 五
入 選	春	子 長 子 子 次 舞 一 淳 子 薫 子 之 登 子 史 子 巳 子 造 治 昭 巳 平 男 子 優 子 隆 市 り 季 英 春 徹 男 郎
入 選	屋根裏の神様	
入 選	心の家族	
入 選	殺生と祈りと	
入 選	木立ち	
入 選	Face-6	
入 選	夕刻	
入 選	陽光	
入 選	波切	
入 選	葱坊主の畑	
入 選	私の世界	
入 選	Maggots	
入 選	下北半島	
入 選	赤い花	
入 選	水郷	
入 選	朽ちる	
入 選	マガタマ池外宮	
入 選	群馬のモラル	
入 選	祭りの日	
入 選	石垣のある道	
入 選	北の国	
入 選	Cheers!〜ぼくらの祭	
入 選	裏通り	
入 選	深淵	
入 選	白い遺構	
入 選	陶醉	
入 選	はなこぼれる	
入 選	からからの旅路	
入 選	港	
招 待	祈り(ヘジャブイ)	
招 待	ひと夏の旅	
招 待	女像	
招 待	作品06-9「気韻」	

[賞]	[題 名]	[名 前]
招 待	希望	牧 戸 正 實
招 待	ジェラシー	百 合 智 子
招 待	風景	森 鴫 昌 行
招 待	喝	岩 佐 義 寛
審査委員	輝きの中で	伊 藤 清 和
審査委員	朝日村一道一	松 本 善 造
審査委員	赤い軌跡	森 幸 彦

● 審 査 評

第47回を迎える市美術展覧会は、合併後2回目の展覧会である。ほとんどの作品が大作・秀作50号であり、作風は抽象作品が2/3で、残りの1/3が具象作品である。本年度の出品点数は104点にのぼり、すばらしい作品群であった。

なかでも、一席の作品「彼方に」は、人物二人の構成がおもしろい。また、空間の処理も適切である。二席の「○×無」は、ユニットの仮面を二方連続に三段で構成し、眼光の表現もさることながら、無の世界を構築している。三席の「影慕情」は、ヒマワリを影の構図、つまり負の形式でとらえ、不思議な情景を醸し出している。また、岡田文化財団賞の「春に遊ぶ」は、物語のある叙情性の世界を巧みに表現し、味わい深い作品である。

奨励賞には充実した作品が多く選ばれ、惜しくも受賞には及ばなかった作品の中にも優秀な作品が多く見受けられた。

第 3 部 門 【 彫 塑 】

〔 賞 〕	〔 題 名 〕	〔 名 前 〕
一 席	潮風の少女	中 西 久 雄
二 席	朝の散歩	鈴 木 政 吉
三 席	ひととき	村 田 幸 通
岡田文化財団賞	もーいいかい。もーいいよ	中 村 な か ゑ
奨励賞	秋まつり	村 田 ひ さ
奨励賞	心静かなひととき	小 河 英
入 選	絆	伊 藤 登 喜 男
入 選	風	奥 村 賢 史
入 選	大和路の秋	藤 本 弘
入 選	おゝ、ひまつり	池 田 清
入 選	失なわれた信仰	吉 田 拓 馬
入 選	ウォーキング	上 山 静 夫
入 選	闘牛	田 中 守
入 選	聖徳太子	青 木 友 生
入 選	熱球	山 口 一
入 選	彫刻能面般若	佐 藤 忠 郎
招 待	諸法無相-----無心	川 村 輝 夫
招 待	のこされた か・た・ち	高 橋 光 彦
招 待	夏の宵	北 川 明 生
審査委員	F-ex(No.03300705)	前 村 実
審査委員	光の風景06-1	山 本 莞 二
審査委員	光の風景06-3	山 本 莞 二
審査委員	慈 愛	稲 垣 克 次

● 審 査 評

今年も木彫作品の出品が多かったが、技術の向上が著しく感じられた。なかでも入賞作品は空間性があり、臨場感があふれている。

今後に期待したいことは、木彫作品については台座の必要性や、人物の顔の表現に力が入りすぎるきらいがあり、全体とのバランスを考慮してほしい。あわせて他の素材、技法、ねらいを含めて、新しくおもいきりのある作品が生まれ出ることを期待します。

運営委員

近山菅鬼	藤口原頭	友好翔	哲子彦雲	吉野立	川口松	久美子 已織子 隆司	前岡梅	田田川	多香子 久紀	香春彦
------	------	-----	------	-----	-----	------------------	-----	-----	-----------	-----

審査委員

日本画 …	山森前	本村	静幸	香彦実	津松山	田本本	親善莞	重造二	安伊稲	保藤垣	清克	隆和次
洋画 …												
彫塑 …												